

## 愛南町御荘地区沿岸津波対策検討委員会（第3回）

### 議事録【概要版】

日時：平成29年3月6日（月）14時30分～

場所：愛南町消防署 大会議室

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ

#### 3. 議事

##### （1）海岸保全施設の整備方針について

（事務局説明）

- ①第2回検討委員会の主な意見
- ②津波対策ベースプラン
- ③実現に向けての課題整理
- ④整備方針について

##### ■質疑応答・主な意見

◇整備方針案に関して

- ・津波に対して避難時間を稼ぐことで減災につながる防潮堤は早急に作って欲しいというのが住民の意見である。（委員）
- ・第1期整備の完成に向け、1日でも早く整備に取りかかってほしい。（委員）
- ・最初に視察に行ったときに見た計画の堤防は威圧感が大きく、それほどの高さはいらないと思う。今回の高さくらいであればさほど威圧感もなく住民、漁業関係者にも説明できる。（委員）
- ・避難時間と堤防高さのバランスを取る必要がある中で、今回の案は住民に納得してもらいやすいものになっている。（委員）
- ・やらないよりはやるほうが良いが、第1期整備の高さで整備してもいきなり大きな地震と津波が来るかもしれないので、その津波に耐えられる防潮堤を考えるべきで、また避難路や避難場所の整備をお願いしたい。津波だけではなく、災害全体についての対策を考えた方が良いのでは。（オブザーバー）
- ・津波が防潮堤を越えた後の引き波に対して説明がない。（オブザーバー）

→引き波に対しては擁壁の前後に叩きを打って洗掘防止対策を検討する。津波が越流して、背後に海水がたまった状態に対しては、排水ポンプ車を利用して、海水を排水して、早期に浸水を

解消する。また、今後整備する堤防の構造を検討するなど、速やかな復旧復興が進むようにしたい。(事務局)

- ・減災に向けた整備が基本であり、ソフト面では避難訓練等を通じて防災に対する意識を高めることが今後の課題である。(委員)

#### ◇ソフト対策について

- ・計画した避難路については、ほとんどの箇所を整備した。L1 津波に対してはこのような防潮堤と合わせ、逃げ遅れた人や橋が落ちたりした場合にその場で逃げる場所を確保するための避難タワーが必要と思う。ハード面とソフト面を一緒にすることで、地震に備えないといけない。(委員)
- ・ハード面で完璧なものを作っても想定外のものがあるかもしれない。できることをやって、日頃から避難訓練もしっかりやっていかなければならない。(委員)

#### ◇避難について

- ・避難シミュレーションでは地震発生後、20分以内に避難を開始する条件となっているが、現実的に可能なのか。(委員)
- ・ハンディキャップを持つ方、子どもや高齢者の方と健常者では心構えや必要とするものは大きく違う。本当に身一つで逃げても、ハンディのある人たちがそこに行けば、何か保障されているものがあるという場所があると避難がしやすいし、避難を開始する時間も早くなる。日頃から、避難のシミュレーションを繰り返すことが必要。(オブザーバー)

#### ◇結論

- ・本計画案を地元住民へ説明する委員会案とする。

## (2) 住民の合意形成方法について

(事務局説明)

- ①第2回検討委員会の主な意見
- ②住民合意の基本的な考え方
- ③住民の合意形成の実施計画(案)

### ■質疑応答・主な意見

#### ◇アンケートについて

- ・「L1 津波対応」では住民はおそらく理解できない。わかりやすくしてはどうか。(委員)

- ・事務局が普通に使っている言葉が住民の方にはよくわからないかもしれない。そのあたりの配慮をお願いしたい。(委員)
  - ・整備計画案について住民説明をして意見を求めると、必ずソフト面の質問は出ると思われる。愛南土木事務所だけでは難しいかもしれないが、対応できるような事務局の体制が必要。(委員)
- 地区説明会では土木事務所だけでは全ての項目に対する説明や補足ができないと思われるため、愛南町の協力をいただきながら住民説明会を行いたいと考えている。(事務局)
- ・実際のアンケートはこれから作るのか。アンケートの内容が決まったら、委員に示すのか。また、アンケートの内容が固まって、委員個々の説明があつて、その上で修正するところは修正をしたら、この委員会としての決定はしないことになるのか。(委員)
- 実際に住民合意を進める前までにはアンケートを委員に示したいと思っており、内容について委員会として決定するかは委員長とも相談しながら決めたい。(事務局)

### (3) その他

- ・漁業関係者の立場として、各組合員等に対する細かい説明まではできないので、その際には協力してもらえるのか。(委員)
- 協力したい。(事務局)
- ・津波被害がないところに公共施設や町の建物を移転していくことが必要ではないか。(オブザーバー)
- 将来、必然的にそうなると考えられる。(委員)
- 長崎の埋立地にできる漁協の統合施設等の移転は難しいが、海に面しなくても良い施設は高台に建設するといった考え方で良い。(委員)
- ・住民は自分たちのことやまちのことを切り離して考えることが難しいため、説明会ではいろいろな立場の人の意見に応えることができるように、わかりやすい説明をお願いしたい。(委員)

## 4. 閉会

今回の意見を踏まえ、今後、愛南町や区長会、学校の方等の協力を得ながら、ハード対策だけでなく、ソフト対策と一体となった整備について住民説明会を行い、津波対策を進めていきたい。(事務局)

—以上—

(開催状況)

	
<p>会議の状況</p>	<p>委員長代理あいさつ</p>
	
<p>委員</p>	<p>委員</p>
	
<p>意見交換</p>	<p>意見交換</p>
	
<p>意見交換</p>	<p>事務局・関係者</p>